

静岡県緑化推進計画

【取組個票・管理指標編】

静岡県緑化推進計画では、計画に掲載した取組のうち主なものについて取組個票を作成するとともに、管理指標を設定して、進捗を管理します。

【取組個票・管理指標編】は、取組の進捗状況、上位計画や関連する計画の策定（改定）、社会経済情勢の変化等に対応して、取組の内容、スケジュール等を柔軟に見直していくため、本編と分けて作成しています。

目次

1 主な取組 個票・令和元年度評価シート

2

基本施策	No	取組名	部局名・担当課名 / 団体名	ページ
(1) 花と緑のある 安らぎの場の拡大	1	緑化資材の提供	静岡県グリーンバンク	2
	2	花の都づくり	経済産業部 農芸振興課	4
	3	花育活動	静岡県グリーンバンク	6
	4	里山学習施設の保全	くらし・環境部 環境ふれあい課	8
	5	森林環境教育プログラムの提供	くらし・環境部 環境政策課	10
	6	しずおか棚田・里地くらぶ	経済産業部 農地保全課	12
	7	ふじのくに色彩・デザイン指針	交通基盤部 景観まちづくり課	14
	8	豊かな暮らし空間創生	くらし・環境部 住まいづくり課	16
	8-2	安全で美しいいえなみ整備	くらし・環境部 住まいづくり課	18
(2) 芝と親しみ、 スポーツを楽しむ 機会の増大	9	芝生地の普及支援、管理支援	静岡県グリーンバンク	20
	10	芝生アドバイザーの育成・活用	静岡県グリーンバンク、芝草研究所	22
	11	用途に応じた芝生の開発	芝草研究所	24
	12	工場緑化セミナー	経済産業部 企業立地推進課	26
	13	県営都市公園の指定管理による芝生の良好な維持	交通基盤部 公園緑地課	28
(3) 花と緑による おもてなし空間の創造	14	花と緑のおもてなし空間整備支援	静岡県グリーンバンク	30
	15	公共施設の緑化	各部 県営施設所管課	
		(県庁本庁舎)	経営管理部 資産経営課	32
		(県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園)	スポーツ・文化観光部 文化政策課	34
		(日本平夢テラス)	スポーツ・文化観光部 観光政策課	36
	16	県立森林公園アカマツ林再生	くらし・環境部 環境ふれあい課	38
17	多様な森林景観づくり	経済産業部 森林整備課	40	
(4) 花と緑があるまちの 魅力の向上と発信	18	さくら愛護思想普及の推進	静岡県さくらの会	42
	19	さくらの保護育成	静岡県さくらの会	44
	20	ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール	経済産業部 農芸振興課	46
(5) 社会総がかりの 緑化活動への参加促進	21	しずおかアダプト・ロード・プログラム	交通基盤部 道路保全課	48
	22	リバーフレンドシップ制度	交通基盤部 河川企画課	50
	23	ふじのくに美農里プロジェクト	経済産業部 農地整備課	52
	24	一社一村しずおか運動	経済産業部 農地保全課	54
	25	森づくり県民大作戦	くらし・環境部 環境ふれあい課	56
	26	しずおか未来の森サポーター	くらし・環境部 環境ふれあい課	58
	27	ふじのくに森の防潮堤づくり	経済産業部 森林保全課	60
(6) 緑化活動の核となる 人材の育成	28	緑化コーディネーターの育成・活用	静岡県グリーンバンク	62

2 管理指標

64

緑化推進計画 事業個票

取組番号	1					
事業・取組名	緑化資材の提供					
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課				
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	花の会、町内会、老人会等の地域の団体が緑化ボランティア活動として、身近に利用されている学校、公園、公民館等の公共施設の緑化活動を行うことに対して、緑化資材を無償配布し、街ぐるみの緑化を支援する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>定期配布事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町を通じて、年2回、緑化活動団体に草花の種子、球根、緑化木苗木等の緑化資材を提供する。 <p>定期配布方法の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内産苗の活用など市町が推進する地域の個性を活かした緑化施策を支援するため、緑化資材配布のあり方を検討する。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
定期配布事業						
定期配布方法の検討		配布方法を見直し				

評価シート

取組番号	1		
事業・取組名	緑化資材の提供		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	
令和元年度事業費	17,950	千円	
令和元年度の実績			
<p>実施箇所の近隣住民2名以上で構成される地域の団体に対し、支店となっている市町を通じ、春・秋の2回緑化資材の配布を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 配布の状況は以下のとおり。 ツツジ807本、サツキ642本、サクラ1,790本、その他3,466本 球根771,600球、種子266リットル 配布延べ団体数 4,194団体 			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>種子・球根の配布種の選定にあたり、例年の申し込み数量を考慮して、配布する種類が類似しないように、継続して配布するもの、しないものを選別した。</p>			
今後の予定			
<p>街ぐるみの緑化を支援していくため、継続して事業に取り組む。 配布する種の蒔き方や球根の植え方、育てるうえでの注意点等の指導方法の検討。 「地域の特色ある花を植えたい」との要望が、どの程度あるのか調査し、その対応を検討。</p>			
参考(写真・図表等)			
緑化資材の配布(市町経由)		配布した緑化資材の植え付けの様子	
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	2					
事業・取組名	花の都づくり					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		農芸振興課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	地域や企業等での花や緑の利活用の推進や若い世代への花への関心を高めることにより、花の都づくりを推進する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<ul style="list-style-type: none"> ・花や緑の活用を推進する「花の都しずおかアドバイザー」を地域や学校等に派遣し、地域の緑化や花育を推進する。 ・花緑コンクールを開催し、地域や学校等による花のある安らぎのある空間を広める。 ・「お花自慢の職場宣言」事業所を募集し、その取組をホームページや冊子等で広報し、企業での花緑の利活用を促進する。 ・高校生等を対象とするフラワーデザインコンテストを開催し、若い世代の花への関心を高める。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
「お花自慢の職場宣言」事業所の拡大	■					
フラワーデザインコンテストの開催	■					

評価シート

取組番号	2		
事業・取組名	花の都づくり		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農芸振興課
令和元年度事業費	8,000 千円		
令和元年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校等における「花育」活動や、地域、企業、市町等が実施する園芸教室や体験教室、講演会等に「ふじのくに花の都しずおかアドバイザー」を講師として派遣し、これに係る経費の一部を負担する「花緑出張サービス」を実施した。令和元年度実績108件 ・ 花壇やオープンガーデン、オフィス、飲食店、学校、街づくりなどの暮らしの様々な場所の花・緑の装飾に関わる「花緑コンクール」を開催し、優良な事例を広く紹介することにより、花の活用を推進した。令和元年度応募実績 82件 ・ 花や緑を活用している事業所を「お花自慢の職場宣言」事業所として募集し、その取組等をPRしている。令和元年度宣言事業所数 92社・団体(累計) ・ 高校生等の若い世代を対象に、花文化を担う人材育成を目的に「“花の都しずおか”フラワーデザインコンテスト2020」を開催した。令和元年度応募実績 フラワーアレンジメント部門36人 ミニガーデン部門39人 			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<ul style="list-style-type: none"> ・ フラワーデザインコンテストについては、当初、「食と花の都の祭典」内で開催し、広く一般公開する予定であった。しかし、新型コロナウイルス感染症の対策のため、関係者限りの非公開方式で開催した。 			
今後の予定			
幅広く県民を対象に、花育活動、花や緑に親しむ機会を提供するため、引き続き事業を実施していく。			
参考(写真・図表等)			
「“花の都しずおか”フラワーデザインコンテスト2020」の様子			
ミニガーデン部門		フラワーアレンジメント部門	
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	3					
事業・取組名	花育活動					
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課				
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	子どもたちが、自分の手で土や苗に触る体験を通して、緑との関わりや優しい心を育む「花育教室」の開催を支援する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>未就学児童対象の花育教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士を対象に、花育の技術、知識を学ぶ指導者養成研修会を実施する。 ・指導者養成研修を修了した保育士が指導者となって、保育園・幼稚園の園児に花育教室を実施する。 ・花育教室未実施の市町の保育園等を対象に、直接講師を派遣して花育教室を実施する。 <p>小学生対象の花育教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象とした花育教室の実施を検討する。 <p>小学校・中学校の活動実績情報収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動や部活動などで取り組んでいる学校緑化や地域学習の活動事例を収集する。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
未就学児童対象の花育教室	――					――
小学生対象の花育教室	内容を検討	――				
小学校・中学校の活動実績情報収集	――					

評価シート

取組番号	3		
事業・取組名	花育活動		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	
令和元年度事業費	6,650	千円	
令和元年度の実績			
<p>未就学児童を対象とした「花育教室(寄せ植え教室)」の実施を希望する幼稚園・保育園等に対して、「指導者養成研修」とその指導者による「花育教室」の2段階で支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者養成研修 花育教室実施を希望する幼稚園・保育園等の保育士等を対象に、「花育教室」を実施するための技術・知識を学ぶ指導者養成研修会を実施した。県内10会場で、159人の指導者を養成した。 ・ 花育教室 研修会を修了した保育士等が指導者になり、163園、園児6,009人を対象に「花育教室」を実施した。 			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>例年参加園の少ない地域で「指導者養成研修」を開催し、参加園の増加を図った。</p>			
今後の予定			
<p>子ども達の花や緑に親しむ機会を増やすため、継続して事業に取り組む。コロナ対策や、「指導者養成研修」に参加しにくい園の為に、研修方法を再検討し参加園の増加を目指すと共に、未就学児童より上の世代を対象とした花育教室の実施を検討していく。</p>			
参考(写真・図表等)			
花育指導者養成研修		花育教室	
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	4					
事業・取組名	里山学習施設の保全					
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課			環境ふれあい課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	「遊木の森」や、「榛原ふるさとの森」における草刈りや、遊歩道の補修、トイレ修繕等により、豊かな自然や生物多様性などを、安全に体験するための環境を整えている。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈り、歩道の補修、トイレ管理(毎年度) ・枯れ木の除去、森林の整備、施設の修繕(状況に応じて) 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
里山学習施設の維持管理						

評価シート

取組番号	4		
事業・取組名	里山学習施設の保全		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
令和元年度事業費	173,752 千円	自然ふれあい施設管理運営費のうち一部	
令和元年度の実績			
<p>遊木の森</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈りや遊歩道整備のほか、鋭いトゲを持つ外来植物(ワルナスビ)が増えていることから、駆除活動を重点的に実施した。 ・新たに「しずおか未来の森サポーター」協定を締結した企業から資金提供を受け、大きくなりすぎた広葉樹の伐採、更新を実施。今後、伐採した広葉樹の利用や更新の様子を森林環境教育に活用していく。 <p>榛原ふるさとの森</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草刈りや遊歩道整備のほか、谷津田の天地返しなどの里山環境の保全を実施した。 ・老朽化加え、シロアリ被害により劣化した水路上の木製歩道・階段を撤去し、鋼製の歩道・階段に更新した。 ・土砂流出抑制のために設置した「まぼろしの池」(谷津田上流部)がほぼ満砂となっているが、開園時の姿を再生させる工事は高額なため、開園時にアドバイスを受けた専門家の意見を伺い、今後の方向性を検討した。 			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の安全確保と施設の機能維持。 ・企業や森づくり団体等の多様な主体が実施する新たな活動の促進。 			
今後の予定			
<p>遊木の森</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3密を避け、誰もが気軽に自然とふれあえる施設としての魅力を発信するとともに、企業の協力やアイデアを得ながら、ハード、ソフトの整備に取り組んでいく。 <p>榛原ふるさとの森</p> <ul style="list-style-type: none"> ・榛原ふるさとの森で活動している森づくり団体の意見も聞きながら、施設の魅力向上のための整備に取り組んでいく。また、CSR活動に積極的な企業の参画を呼び掛けていく。 			
参考(写真・図表等)			
		 <p>榛原ふるさとの森 木製階段の更新</p>	
<p>しずおか未来の森サポーター 協定締結式(遊木の森)</p>			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	5					
事業・取組名	森林環境教育プログラムの提供					
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課			環境政策課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	県営の「里山体験学習施設 遊木の森」や「榛原ふるさとの森」において、豊かな自然体験が出来るよう、森林環境教育プログラムを提供します。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>しずおか里山体験学習施設「遊木の森」 森林環境教育実践拠点「遊木の森」において、学校等の団体向けに森林環境教育プログラムを提供するとともに、プログラムの補助を行いながら森林環境教育の指導に必要な知識や技術を習得する指導者のOJT研修(人材育成)を実施する。</p> <p>「榛原ふるさとの森」 身近な自然環境を活用した環境教育フィールドとして整備した「榛原ふるさとの森」において、学校等の団体向けに森林環境教育プログラムを提供する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
森林環境教育プログラムの提供						

評価シート

取組番号	5		
事業・取組名	森林環境教育プログラムの提供		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境政策課
令和元年度事業費	3,367	千円	
令和元年度の実績			
<p>しずおか里山体験学習施設「遊木の森」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林環境教育実践拠点「遊木の森」において、幼稚園や保育園、学校等の20団体、1,577人に対して、森林環境教育プログラムを実施し、里山の自然の大切さや楽しさを学ぶ機会の提供を行った。 <p>「榛原ふるさとの森」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な自然環境を活用した環境教育フィールドとして整備した「榛原ふるさとの森」において、幼稚園や保育園、学校等の15団体、770人を対象に、森林環境教育プログラムを実施し、里山の自然の大切さや楽しさを学ぶ機会を提供した。 			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
幅広い団体が森林環境教育を受けられるよう、様々な団体(幼稚園・保育園・小学校等)に呼びかけを行った。			
今後の予定			
地域における環境教育の推進のため、継続して事業に取り組み、里山の自然の大切さや楽しさを学ぶ機会を提供する。			
参考(写真・図表等)			
			
プログラム実施の様子			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	6					
事業・取組名	しずおか棚田・里地くらぶ					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		農地保全課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	<p>農業者の高齢化と後継者不足から棚田・里地の保全管理が困難になっている地域にボランティアやアドバイザーを派遣し、棚田・里地の維持・管理を目的とした保全活動、活性化及び組織の支援を行う。</p>					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>草刈り・復田・田植え等の保全活動を支援するため、くらぶのニュースレターやFacebook等で広く活動ボランティアを募り、県民に棚田・里地での活動に参加してもらう。専門的な知識を有するアドバイザーを保全団体に派遣し、活動支援を行う。 棚田や里地の有する多面的機能の維持向上及び保全の必要性をPRするため、広報誌「里風通信」を発行する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
棚田・里地で活動するボランティアの募集						
活動団体・地域へのアドバイザー派遣						
広報誌「里風通信」の発行	年2回発行					

評価シート

取組番号	6		
事業・取組名	しずおか棚田・里地くらぶ		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農地整備課・農地保全課
令和元年度事業費	2,899 千円		
令和元年度の実績			
<p>しずおか棚田・里地くらぶ公式ウェブサイトの開設やFacebook、ニュースレター等を通じて、広く活動ボランティアを募り、棚田保全活動参加者の増加を図った。(R1:1,793人参加)</p> <p>静岡県の棚田や里地の魅力を全国に発信するため、「エコプロ2019」(東京ビックサイト)に出展し、県内の棚田保全活動の紹介し、県外からの活動参加者を募った。</p> <p>農水省が主体となり、棚田の魅力を伝え、棚田への訪問を促す広報ツールとして「棚田カード」を作成・配布する全国棚田カード作成事業に参加し、第一弾として、国が31府県56地区の棚田カードを作成し、本県では、2地区(石部、上倉沢)が作成された。棚田カードを棚田保全活動等のイベント時に配布することにより、参加者の増加を図った。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>しずおか棚田・里地くらぶ公式ウェブサイトの作成は、既存の県ホームページ内のサイトから外部サーバーに移行することで、より多くの情報が速やかに更新できることとなり、各地域の活動状況がより詳細に把握できるようになったため、活動組織からも「他地域の活動内容がわかるため、参考になる」等の意見も聞かれ、意欲向上にもつながっている。</p>			
今後の予定			
<p>棚田カード第二弾として、県で7地区を新たに作成したため、今年度より配布し、棚田保全活動参加者の増加を図っていく。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
棚田カード(石部棚田)	棚田カード(倉沢「せんがまち」の棚田)	「エコプロ2019」(東京ビックサイト)への出展	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	7					
事業・取組名	ふじのくに色彩・デザイン指針					
部局名/団体名	交通基盤部		担当課		景観まちづくり課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	公共施設の整備に際して、ふじのくに色彩・デザイン指針に基づき、景観に配慮した美しい緑化のデザインに努める。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>地域景観を大きく印象付ける社会インフラの整備において、県の公共事業における景観形成の指針である「ふじのくに色彩・デザイン指針」に基づいた樹木の保全や花木の活用等を推進することにより、地域緑化の先導的役割を担う。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
ふじのくに色彩・デザイン指針の活用						

評価シート

取組番号	7		
事業・取組名	ふじのくに色彩・デザイン指針		
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	景観まちづくり課
令和元年度事業費	0	千円	
令和元年度の実績			
<p>様々な機会を捉え、行政職員及び建設業者等に向けて「ふじのくに色彩・デザイン指針」の説明会や研修会を行った。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>「ふじのくに色彩・デザイン指針」のさらなる普及啓発と運用の徹底</p>			
今後の予定			
<p>引き続き「ふじのくに色彩・デザイン指針」の説明会や景観の専門家による景観検討の研修会を開催し、県職員の景観形成に対する意識を啓発するとともに運用の徹底を図り、高質な公共空間を形成していく。</p>			
参考(写真・図表等)			
<p>ふじのくに色彩・デザイン指針より、緑化関連箇所の抜粋</p>			
			
護岸の緑化		法面の緑化	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	8					
事業・取組名	豊かな暮らし空間創生					
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課			住まいづくり課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	生活と自然が調和した住まいづくり・まちづくりの普及や地域コミュニティの形成、景観に配慮した豊かな住環境を整備することにより、快適な暮らし空間の実現を図る。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>「豊かな暮らし空間」を実現した住宅地の普及・啓発を図るため、住民が共同で利用できる公園や庭の緑化など一定要件を満たした住宅地の計画を「豊かな暮らし空間創生住宅地」として認定し、冊子・ホームページへの掲載や見学会の開催等により県民や住宅関係事業者等に広く情報を発信する。</p> <p>「豊かな暮らし空間」の実現に向け、住宅関係事業者等に対してアドバイザーを派遣するほか、内陸フロンティア推進区域内における「豊かな暮らし空間創生住宅地」の整備に対して重点的に支援する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
豊かな暮らし空間創生住宅地の認定						
アドバイザー派遣						
内陸フロンティア推進区域内における住宅地整備に対する支援						

評価シート

取組番号	8		
事業・取組名	豊かな暮らし空間創生		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	住まいづくり課
令和元年度事業費	0	千円	
令和元年度の実績			
<p>「豊かな暮らし空間創生住宅地」として認定した「三島塚原優良田園住宅 ^{さくらこうり}桜郷里」(三島市塚原新田)1地区70区画が新たに完成し、分譲を開始した。 「豊かな暮らし空間創生住宅地」の普及・啓発のため、アドバイザーを招き、先進事例「池田の森」(静岡市駿河区池田)の見学会等を実施した。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>豊かな暮らし空間創生住宅地の普及・啓発として、新たに建設コンサルタント会社を対象として先進事例の見学会を実施した。</p>			
今後の予定			
<p>企業訪問等を行い、認定制度の周知とともに新たな住宅地の掘り起こしを図る。 豊かな暮らし空間創生推進協議会と連携し、完成見学会や実務研修会を開催する。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
<p>「三島塚原優良田園住宅桜郷里」エントランス</p>			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	8 - 2					
事業・取組名	安全で美しいいえなみ整備					
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課			住まいづくり課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(1)花と緑のある安らぎの場の拡大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	既成の住宅地における道路に面する危険なブロック塀等の撤去後、植栽を基調とした緑のいえなみを推進し、安全で美しいいえなみへ誘導する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>道路に面する危険なブロック塀等の撤去費、道路に面する生垣・フェンス等の整備に補助する市町に対し助成する。</p> <p>「美しいいえなみ事例集」を県、市町の窓口をはじめ住宅展示場等で配布するほか、県のHPにも事例集のデータを公表し、県民の「安全で美しいいえなみ」への意識醸成を図るとともに、樹種の選定や緑化計画の参考になるよう、広く情報発信をする。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
安全で美しいいえなみ整備事業						

評価シート

取組番号	8 - 2		
事業・取組名	安全で美しいいえなみ整備		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	住まいづくり課
令和元年度事業費	7,761 千円		
令和元年度の実績			
<p>助成実績は以下のとおり。 ブロック塀等の撤去173件、安全で美しいいえなみ整備(植栽)3件、 安全で美しいいえなみ整備(フェンス等)63件</p> <p>「美しいいえなみ事例集」を作成した。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>市町を個別訪問し、事業の趣旨を説明するとともに、制度創設を働きかけた。</p>			
今後の予定			
<p>「美しいいえなみ事例集」を活用し、広く助成制度の周知、啓発を行い制度活用件数の増加を図る。 静岡県住まいの文化賞に「美しいいえなみ賞」を創設し、工務店等の応募や受賞作品の広報を通じて、県民意識の醸成を図る。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
<p>安全で美しいいえなみ整備(富士市内)</p>			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	9					
事業・取組名	芝生地の普及支援、管理支援					
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課				
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	園庭・校庭や運動公園への芝生の導入を推進するとともに、既存の芝生地の維持の支援を行う。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>住民参加による園庭等芝生緑化支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育園などの園庭、学校の校庭、地域の公園、スポーツ広場などの芝生化を住民参加で実施するための資材や管理備品の購入経費を支援する。 <p>芝生管理活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の団体が行う公園、緑地などの芝生地を維持管理するための経費を支援する。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
住民参加による園庭等芝生緑化支援						
芝生管理活動支援						

評価シート

取組番号	9		
事業・取組名	芝生地の普及支援、管理支援		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	
令和元年度事業費	14,921 千円		
令和元年度の実績			
<p>○ 園庭等芝生化モデル事業 園庭、校庭、地域の公園、スポーツ広場などを、住民参加で芝生化する施設に工事費や設備費及び資材費や管理機具等の経費を助成した。 助成施設: 保育園3、福祉施設1、広場1 計5件 芝生化面積: 2,016m²</p> <p>○ 芝生地維持管理活動支援事業 公園、緑地、園庭・校庭などにある芝生を維持管理する団体に、維持管理活動に必要な経費を助成した。 助成団体: 幼稚園等18、広場12、学校1、福祉2 計33件 助成先芝生地面積: 25,760m²</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 園庭等芝生化モデル事業 園庭等への普及が進んでいない市町の幼稚園等に対しDMを送付するなど、応募施設の掘り起こしを実施</p> <p>○ 芝生地維持管理活動支援事業 適確な維持管理活動の実行性を高めるために、研修への参加を呼びかけを実施</p>			
今後の予定			
<p>○ 園庭等芝生化モデル事業 制度利用施設の掘り起こし強化: 市町広報の活用、花育研修参加園や私学組織等の活用(DM)</p> <p>○ 芝生地維持管理活動支援事業 維持管理技術の向上: 施設巡回時に芝生教室や芝草管理講座への参加を積極的に促す。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
親子協働でポット苗植え込み		芝生地維持管理活動	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	10					
事業・取組名	芝生アドバイザーの育成・活用					
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク、芝草研究所			担当課		
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	芝生の知識を持った専門家を育成するとともに、芝生の専門家を各地域に派遣し、設置した芝生の適切な維持管理を支援する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>芝草管理講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 芝生の育成・管理に関して専門的な指導ができる人材を育成する芝生管理講座を開催する。 <p>人材バンクの設置・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 芝生アドバイザーの要件を定め、人材バンクを設置する。 芝草管理講座の修了生や造園業などの専門家を、芝生アドバイザーとして認定し、人材バンクに登録する。 <p>芝生アドバイザーの派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域での芝生の育成・管理に関して、芝生アドバイザーなどの専門家によるアドバイスを受けやすくするため、専門家の派遣を支援する。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
芝草管理講座の開催						
人材バンクの設置・活用	設置			登録・活用		
専門家の派遣を支援						

評価シート

取組番号	10		
事業・取組名	芝生アドバイザーの育成・活用		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク、芝草研究所	担当課	
令和元年度事業費	2,355	千円	
令和元年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ○ 芝生教室開催(1日コース)・・・グリーンバンク 参加者:東部13人、中部18人、西部9人 計40人 講師:NPO法人グラウンドキーパーズ 研修内容:芝生化及び維持管理手法と管理機具に関する基礎知識を学ぶ ○ 芝草管理講座(3日コース・芝生アドバイザー育成)・・・芝草研究所 参加者:27人(修了者24人) 講師:静岡県芝草研究所 研究主幹 研修内容:芝生化及び維持管理に必要な専門的な知識を学ぶ ○ 芝生アドバイザー活用 芝生化実施施設や芝生地管理団体の要請に基づき、芝生化指導及び維持管理に関する現場指導や管理機具のメンテナンス指導(特に研磨)を行った。 アドバイザー:NPO法人グラウンドキーパーズ 指導先:芝生化指導5件・巡回66回、 現場指導1件・巡回4回、メンテナンス指導8件・巡回16回 ○ 人材バンクの登録 グリーンバンク事業等を通じて制度の趣旨に沿う人材があれば随時登録した。 			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<ul style="list-style-type: none"> ○ グリーンバンク補助事業等で芝生化を実施した箇所など、既存の芝生管理者に対して管理技術の向上のために募集を実施した。 			
今後の予定			
<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ対策に配慮した研修会を開催する。 ○ 募集活動として新たに市町広報の活用を検討する。 			
参考(写真・図表等)			
			
芝生教室		芝草管理講座	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	11					
事業・取組名	用途に応じた芝生の開発					
部局名/団体名	芝草研究所			担当課		
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	身近で使いやすい芝生地拡大のため、スポーツでの使用に耐えるものや日陰でも育成しやすいもの、長い期間常緑性を維持するものなど、用途に応じた芝種の選定を行い、用途に応じた管理手法を確立する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>芝種の選定と管理手法の確立 身近で使いやすい芝生の普及のため以下の課題の研究を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツでの使用に耐える耐踏圧性の高い芝種の選定 ・日陰になる時間が多くても育成し管理の手間やコストが低い芝種の管理手法 ・常緑だが夏季の管理が難しい寒地型芝草の夏季に強い品種の選定 ・ノシバ・コウライシバをベースとする芝生の常緑化のためのウィンターオーバーシード(WOS)方法 等 <p>外部評価の実施 研究の成果がより高いものとなり、成果を迅速かつ効果的に社会還元するため、外部評価委員会において研究内容の評価を行う。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
芝種の選定と管理手法の確立						
日陰でも育成しやすい品種の管理手法確立	生育試験		成果	普及		
スポーツでの使用に耐える品種の選定	収集		生育試験		成果	普及
長い期間常緑性を維持する品種の選定、手法の確立			収集、生育試験			成果
外部評価の実施	外部評価を受け適宜研究内容を見直し					

評価シート

取組番号	11		
事業・取組名	用途に応じた芝生の開発		
部局名/団体名	芝草研究所	担当課	
令和元年度事業費	6,531	千円	
令和元年度の実績			
<p>身近で使いやすい芝生の普及のため、用途に応じた芝種の選定と管理手法の研究を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日陰になる時間が多くても成育する芝種(セントオーガステイングラス)の管理手法の調査のため、県立森林公園(浜松市浜北区)、吉田特別支援学校などを場外ほ場として活用し植栽方法による広がり方の差や雑草との競合性などの研究を行った。 ・ 適切な芝生管理のために簡易気象観測機を作製し、県内ゴルフ場3箇所に試験配備を行った。 ・ コウライシバをベースとするウィンターオーバーシード(WOS)方法について、寒地型芝草の播種量を変更するなどして比較調査を行った。 			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 芝草研究の成果として、令和3年度末までに、日陰でも生育する芝生の管理マニュアルを作成することを念頭に、研究内容の検討を行った。 			
今後の予定			
<p>セントオーガステイングラスの管理マニュアル作成に向け、マニュアルの骨格の作成及び研究成果の蓄積をしていく。 次回の外部評価委員会は令和2年度に実施する。</p>			
参考(写真・図表等)			
セントオーガステイングラス		吉田特別支援学校での状況(木陰でも生育)	
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	12					
事業・取組名	工場緑化セミナー					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		企業立地推進課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	工場緑化に係る本県理念の浸透を図るため、緑化セミナーを開催する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>産業振興と自然環境の調和の実現を図るため、地域の実情に合わせた緑地面積率等の見直しを行う県条例を平成27年10月に施行した。条例に盛り込まれた工場緑化に係る本県理念の浸透を図り、県全体で質の高い工場緑化を実現するため、市町と協働で、緑化セミナーを開催する。</p> <p>工場立地法の改正により、緑地面積率等の見直しを行う条例の制定権限が全市町村に移譲されたため、今後、市町が地域の実情に合わせた見直しと運用を行うよう、助言していく。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
緑化セミナーの開催						
市町への助言						

評価シート

取組番号	12		
事業・取組名	工場緑化セミナー		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	企業立地推進課
令和元年度事業費	-	千円	
令和元年度の実績			
<p>県内外の企業、県内市町の担当者向けに、先進的な工場緑化を実施している企業の視察を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域特性にあった緑化や工場敷地の有効活用としてのビオトープの整備など、質の高い工場緑化の取組を見学し、工場緑化に係る本県理念の浸透を図った。 <p>(企業:17社24人、市町:10市町14人、県:4人 計42人)</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>視察先を、地域に根付いた取組及び先進的な工場緑化を行っている企業で、緑化優良工場経済産業大臣賞を受賞した企業を選定した点。</p>			
今後の予定			
<p>昨年に引き続き、本県の工場緑化の先進事例を紹介し、工場緑化に係る本県理念の浸透を図る。</p>			
参考(写真・図表等)			
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	13					
事業・取組名	県営都市公園の指定管理による芝生の良好な維持					
部局名/団体名	交通基盤部		担当課		公園緑地課	
基本方針	1 花と緑を慈しむ文化の創造					
基本施策	(2)芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	<p>県営都市公園内の多目的競技場等運動施設における芝生の維持管理を指定管理者が定期的に行うことにより、常に芝生を良好な状態に保ち、運動施設の快適な利用を促進し芝生自体の長寿命化を図っている。</p>					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>公園内の施設毎に気候の変化や芝の状態等を考慮し、芝刈り、散水、施肥、抜取除草、薬剤散布などを実施し、施設利用にあたって快適な状態を維持する。また、適正な時期に芝の張替えを行い、常に良好な状態を保つ。</p> <p>【参考】H29年度 年間計画 (愛鷹広域公園年間計画) 芝刈 20回/年、灌水 30回/年、施肥 10回/年、抜取除草 15回/年、 薬剤散布 10回/年 など (草薙総合運動場年間計画) 芝刈 45回/年、散水 30回/年、施肥 5回/年、抜取除草 15回/年、 薬剤散布 10回/年 など (小笠山総合運動公園年間計画) 芝刈 125回/年、散水 90回/年、施肥 30回/年、抜取除草 15回/年、 薬剤散布 25回/年 など</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
芝生の維持管理・張替え						

評価シート

取組番号	13				
事業・取組名	県営都市公園の指定管理による芝生の良好な維持				
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	公園緑地課		
令和元年度事業費	-	千円			
令和元年度の実績					
<p>(愛鷹広域公園年間実績) 芝刈 100回/年、散水 50回/年、施肥 15回/年、抜取除草 15回/年、 薬剤散布 10回/年 など</p> <p>(草薙総合運動場年間実績) 芝刈 96回/年、散水 100回/年、施肥 26回/年、抜取除草 50回/年、 薬剤散布 11回/年 など</p> <p>(小笠山総合運動公園年間実績) 芝刈 125回/年、散水 90回/年、施肥 30回/年、抜取除草 15回/年、 薬剤散布 10回/年 など</p> <p>いずれも芝生の状態に応じて、概ね当初計画どおりの実施がされている。</p>					
令和元年度の実施にあたり考慮した点					
<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用頻度が高く、芝生が荒れている箇所について、補植等で対応した。(愛鷹広域公園) ・ 夏場は肥料、水撒きを重点に芝生の育成に心掛けている。(愛鷹広域公園) ・ 芝生の発育が悪い箇所について、エアレーションの回数を増やした。(草薙総合運動場) ・ 新根や新芽の発生を促し芝生を活性化させるリノベーション作業を実施。(小笠山総合運動公園) 					
今後の予定					
項目	R2	R3	R4	R5	R6以降
芝生の維持管理・張替え	→				
芝の状態に応じた取組みにより、良好に保たれている。今後も同様に取り組みを継続する。					
					

緑化推進計画 事業個票

取組番号	14					
事業・取組名	花と緑のおもてなし空間整備支援					
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課				
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	多くの人々が行き交う駅前や観光地などに、地域らしさが光る「花と緑のおもてなし空間」を創造するため、おもてなし空間を整備する市町等に対して支援を行う。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>おもてなし空間整備に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のおもてなし空間の整備を図るため、おもてなし空間整備事業を実施する市町等に対し、助成を行う。 ・おもてなし空間の整備にあたっては、周囲の景観への配慮、花種の検討、維持管理の検討のため、専門家によるアドバイスを受けるものとする。 <p>おもてなし空間を維持する団体への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし空間を整備・維持する団体が専門家によるアドバイスを受けやすくするため、専門家の派遣を支援する。 ・おもてなし空間の維持のため、グリーンバンクの緑化活動支援事業等を活用して継続的な支援を行う。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
おもてなし空間整備に対する助成	_____					
おもてなし空間を維持する団体への支援						
専門家の派遣を支援	_____					
花材等の支援		_____グリーンバンクの緑化活動支援事業等を活用				

評価シート

取組番号	14		
事業・取組名	花と緑のおもてなし空間整備支援		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	
令和元年度事業費	4,194 千円		
令和元年度の実績			
<p>地域のシンボルとなる花と緑のおもてなし空間の整備を図るため、新規整備及び維持管理を実施する市町等に対し、助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規箇所:伊豆の国市、小山町、伊豆市(花壇、散水施設等の設置 3箇所) ・ 継続箇所:三島市、富士市、伊豆市(花壇等の維持管理 3箇所) <p>地域のシンボルとなるおもてなし空間の整備を図る実施主体を支援するため、空間整備計画立案に必要な専門家(アドバイザー)の活用を支援した。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとなるよう、県東部地域を中心に働きかけを行った。</p> <p>実施主体に対し、周囲の景観に考慮したうえで、地域のシンボルとなるようにアドバイスを行った。</p>			
今後の予定			
<p>花と緑のおもてなし空間が県東部から県中西部に広がるように、これまでの整備箇所の取組を活用してPRし、事業を継続して取り組む。</p> <p>おもてなし空間の設置者が整備箇所を維持できるように支援を継続していく。</p>			
参考(写真・図表等)			
	伊豆の国市		小山町
	伊豆市		

緑化推進計画 事業個票

取組番号	15					
事業・取組名	公共施設の緑化(県庁本庁舎)					
部局名/団体名	経営管理部		担当課		資産経営課	
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・県立の農業高等学校や農林大学校の生徒が授業にて栽培した花プランターを県庁本館(正面側)の窓辺に設置し、「親しみやすい県庁」とする。 ・本庁舎内に花等を設置し、来庁者への「おもてなし」を実施する。 					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>経営管理部資産経営課(本庁舎所管所属)</p> <p>来庁者等に対して「親しみやすい県庁」とするため、県庁本館(正面側)の窓辺に県立の農業高等学校や農林大学校の生徒が授業で栽培した花プランターを設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県下農業高校(11校)と農林大学校が栽培した花プランターを年5回に分けて設置する。 ・東館2階ロビーの設置場所及び本館正面案内板にて栽培学校や花種類を発信する。 ・ホームページ等で窓辺の花事業(学校栽培)の情報を発信する。 <p>(資産経営課:県ホームページ、教委:フェイスブック)</p> <p>県ホームページは、本館工事終了後掲載予定。</p> <p>来庁者への「おもてなし」として、東館2階ロビーや4階廊下コーナー、本館2階正面入口に植物(観葉・花)を設置する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
県庁本館窓辺の花設置事業						
本庁舎環境美化事業						

評価シート

取組番号	15		
事業・取組名	公共施設の緑化(県庁本庁舎)		
部局名/団体名	経営管理部	担当課	資産経営課
令和元年度事業費	1,413 千円		
令和元年度の実績			
<p>県民に親しみやすい県庁とするため、また、県民の環境美化・緑化運動の啓発を図るため、県庁に草花を設置した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立の農業高校(11校)及び農林大学校に栽培を依頼し、本館正面窓辺等に草花を設置した。【本館2～4階の窓(80窓)等(第1回、2回は1回あたり160鉢、第3～5回は1回あたり164鉢)に順次設置】 ・ 県内福祉施設(8施設)が栽培した花を本館玄関前に設置した。【各福祉施設から購入した30鉢を順次設置】 <p>庁内における寄せ植え花の設置等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 庁内の環境美化及び来庁者の「おもてなし」のため、高校や専門学校の協力も得ながら、本館2階案内所横や東館2階ロビーに寄せ植え花を設置するなどした。 			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 県立の農業高等学校や農林大学校の生徒が授業にて栽培した花プランターを県庁本館(正面側)の窓辺に設置し、「親しみやすい県庁」とする。 ・ 本庁舎内に花等を設置し、来庁者への「おもてなし」を実施する。 			
参考(写真・図表等)			
			
		本館窓辺の花	
			
		本館玄関	
			
東館2階ロビー		本館2階案内所	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	15					
事業・取組名	公共施設の緑化(県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園)					
部局名/団体名	スポーツ・文化観光部	担当課			文化政策課	
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園における草木、緑地等の維持管理					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>県立美術館等の施設において、県の文化施設として訪れる方々に快適な空間を提供するよう、草木等の適切な維持管理を行っている。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
施設内草木等の維持管理						

評価シート

取組番号	15		
事業・取組名	公共施設の緑化(県立美術館、地球環境史ミュージアム、グランシップ、舞台芸術公園)		
部局名/団体名	スポーツ・文化観光部	担当課	文化政策課
令和元年度事業費	34,981 千円		
令和元年度の実績			
<p>施設を訪れる方々に快適な空間を提供できるよう、各施設において樹木の剪定、芝生の管理、草刈り等を計画的に実施した。 枯れ木や強風による倒木の除去等も適切に行った。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>良好な緑化環境を維持するため、年間計画に基づき適切な植栽管理等を行った。 老木が多い施設では、倒木や枯れ枝の処理に留意した。</p>			
今後の予定			
<p>今後も継続して、草木等の適切な維持管理を行っていく。</p>			
参考(写真・図表等)			
 <p>県立美術館</p>	 <p>地球環境史ミュージアム</p>	 <p>グランシップ</p>	
 <p>舞台芸術公園</p>			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	15					
事業・取組名	公共施設の緑化(日本平夢テラス)					
部局名/団体名	スポーツ・文化観光部	担当課			観光政策課	
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	日本平夢テラス(前庭)の整備					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>日本平において、国内外からの観光客を出迎えるのに相応しく、常に四季折々の花が咲き、樹木や草花に囲まれながら散策ができる、庭園のような空間として日本平夢テラス前庭を整備した。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
日本平夢テラス(前庭)の整備	<u>工事</u>					
樹木草花等の維持管理		<u>維持管理</u>				

評価シート

取組番号	15		
事業・取組名	公共施設の緑化(日本平夢テラス)		
部局名/団体名	スポーツ・文化観光部	担当課	観光政策課
令和元年度事業費	50,213 千円		
令和元年度の実績			
<p>日本平において、国内外からの観光客を出迎えるのに相応しく、常に四季折々の花が咲き、樹木や草花に囲まれながら散策ができる庭園のような空間として整備した日本平夢テラス前庭について、来訪者に快適な空間を提供できるよう、樹木草花の適切な維持管理を行った。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>来訪者に快適な空間を提供できるよう、樹木草花の適切な維持管理に努めた。</p>			
今後の予定			
<p>今後も、来訪者に快適な空間を提供できるよう、樹木草花の適切な維持管理を行っていく。</p>			
参考(写真・図表等)			
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	16					
事業・取組名	県立森林公園アカマツ林再生					
部局名/団体名	くらし・環境部		担当課		環境ふれあい課	
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	<p>県立森林公園のアカマツ林は、県内でも希少な、まとまった面積の植物群落であり、公園のシンボルともなっている。</p> <p>松くい虫被害で減少してしまったが、長年継続してきた防除対策により、近年被害が収束しつつあるため、施設の再整備を契機に、保全から再生への転機となる「保全・再生指針」を策定し、アカマツ林の再生活動を始めている。</p>					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>森づくりボランティアや企業等と連携したアカマツ林の保全・再生活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域固有の遺伝子にも配慮し、落下種子由来のアカマツを育てていく。 ・活動団体は、随時募集し、各団体が年に1～2回程度下刈りなどを行う。 ・再生活動の実施時には、積極的に広報活動を行う。 <p>アカマツ林再生に向けた調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林・林業研究センターの協力を得て、調査を実施している。 (表土を掻き取った区と、草刈りだけ行った区のアカマツの成長を観察) 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
アカマツ林の保全・再生活動						
アカマツ林の再生調査						
施設の再整備						

評価シート

取組番号	16		
事業・取組名	県立森林公園アカマツ林再生		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
令和元年度事業費	1,426 千円	県民参加の森づくり推進事業費の一部ほか	
令和元年度の実績			
<p>アカマツ林保全活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県民ボランティアによる再生活動を2回した。 ・ しずおか未来の森サポーター企業による再生活動を2回開催した。 ・ 「森林公園ボランティアの会」の会員を対象に、生物多様性に関する研修会を開催し、アカマツ林の保全に関する知識や技術の習得を支援した。 			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>企業への働き掛けを進め、県立森林公園のアカマツ林保全・再生活動に取り組む企業が増加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ しずおか未来の森サポーター企業「新規1社」「活動エリアにアカマツ林を追加1社」 ・ アカマツ実生苗木の育成への協力1社 			
今後の予定			
<p>県民ボランティアや企業の活動をPRし、更なる参加者の確保に取り組んでいく。 (今年度の活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止又は規模縮小となる見込み)</p>			
参考(写真・図表等)			
			
しずおか未来の森サポーター企業によるアカマツ林再生活動		「生物多様性を学ぼう！研修会」	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	17					
事業・取組名	多様な森林景観づくり					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		森林整備課	
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(3)花と緑によるおもてなし空間の創造					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	国内外から多数の来訪者が見込まれる世界遺産富士山の構成資産や東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技会場へのアクセス道路沿線等の森林整備を支援し、景観の向上を図る。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>2020東京オリンピック・パラリンピックを控え、本県を訪れる方のおもてなし等の新たな需要に緊急に対応するため、景観の改善や眺望の確保を図る森林景観整備を、「安全・快適の道」緊急対策事業等により実施する。</p> <p>○事業名:平成30年度「安全・快適の道」緊急対策事業費 平成26～29年度 しずおか林業再生プロジェクト推進事業費</p> <p>○対象森林:アクセス道路沿線やビューポイント周辺の森林 富 士:世界遺産富士山の構成資産へのアクセス道路沿線 伊 豆:世界遺産韮山反射炉や伊豆ベロドローム周辺及びアクセス道路沿線</p> <p>○実施内容:景観の改善や眺望の確保を目的とした、人工林の間伐や広葉樹の除去に対する支援</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
富士						
伊豆			東京2020オリンピック・パラリンピック			

評価シート

取組番号	17		
事業・取組名	多様な森林景観づくり		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	森林整備課
令和元年度事業費	19,500 千円		
令和元年度の実績			
<p>東京2020オリンピック・パラリンピック関連施設へのアクセス道となる伊豆スカイライン沿線等(伊豆市・伊豆の国市)、自転車競技ロードレースコース沿線(小山町)で、17haの修景伐を実施した。 世界文化遺産富士山の構成資産へのアクセス道路沿線(富士市・裾野市)において、18haの修景伐を実施した。 眺望を遮っていた樹木の伐採による美しい眺望景観の創出や東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技会場への観客輸送ルート沿線の整備により、来訪する観客に、また訪れたいと思う森林景観の創出を図った。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>眺望を阻害する樹木や、道路のカーブ上に張り出した樹木の伐採により、美しい眺望を確保するとともにアスリートの競技環境及び通行車両の見通しを改善した。</p>			
今後の予定			
<p>令和元年度で事業による整備は完了した。今後は、森林整備等を実施する際に、これまで蓄積した森林景観整備の手法を生かしていく。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
整備前		整備後	
伊豆スカイライン沿線			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	18					
事業・取組名	さくら愛護思想普及の推進					
部局名/団体名	静岡県さくらの会			担当課		
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(4) 花と緑があるまちの魅力の向上と発信					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	静岡県さくらの会ホームページにさくらの情報を掲載するとともに、さくら写真コンクールを開催し、国花である桜を県民に広く普及させる。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>ホームページでの桜情報の公開 県民が桜に親しむ機会を増やすため、県と市町が連携して県さくらの会ホームページに掲載している県内の桜の名所情報、開花状況等の情報提供を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内各地にある桜の種類や開花時期がわかる、さくらマップを作成する。 ・富士山に見える桜名所情報を発信する。 ・ソメイヨシノ等春の桜の時期には、各地のさくら開花情報を毎日発信する。 <p>さくら写真コンクール さくら愛護思想の普及と高揚を図るため、県内の桜を対象とした「さくら写真コンクール」を開催する。 入賞作品については誰でも利用できる環境を整え、チラシやポスターなどの広報媒体への活用要望があればすぐに提供できるよう作品を管理することで、桜の美しさを県内外に広くアピールする。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
HPでの桜情報の公開						
	さくらマップ作成					
さくら写真コンクール						

評価シート

取組番号	18		
事業・取組名	さくら愛護思想普及の推進		
部局名/団体名	静岡県さくらの会	担当課	
令和元年度事業費	542 千円		
令和元年度の実績			
<p>県民が桜に親しむ機会を増やすため、県さくらの会ホームページに掲載している県内の桜の開花状況提供箇所数を増やした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1月～3月の早咲き桜、3月下旬からソメイヨシノ等春の桜の時期に、各地のさくら開花情報を発信した。令和元年度は、早咲き桜(令和2年1月～)で25箇所(前年23箇所)、春の桜(令和2年3月下旬～)で75箇所(前年72箇所)の情報提供を実施した。 <p>県内のさくらの魅力を広くアピールするため、「静岡県さくら写真コンクール」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、県内の桜を対象としていることが分かりやすいよう、コンクール名に「静岡県」を付け、部門名を「静岡県内の桜」から「桜の風景」へ変更した。「桜の風景」、「富士山と桜」の2部門で実施した。応募点数が前年度より85点増加し、657点の応募があり、その中から計18点の入賞者を決定し、表彰した。 			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<ul style="list-style-type: none"> 静岡県さくら写真コンクールでは、応募点数を増やすため、募集要領の配布箇所の拡大、コンクール情報サイトへの掲載など広報に力を入れた。 令和2年度静岡県さくら写真コンクールでは、早咲きの桜の作品の応募を増やすため、前年度よりも約1か月早い2月上旬から募集を開始した。 			
今後の予定			
<p>ホームページは、名所情報・開花状況等、会員となっている市町と協力して、情報の充実を図っていく。</p> <p>静岡県さくら写真コンクールは、過去の入賞作品を使用してもらうため、会員や観光協会等へPRする。</p>			
参考(写真・図表等)			
<p>R元年度静岡県さくら写真コンクール 最優秀賞「令和の彩り」</p> 		<p>令和2年度は応募チラシをカラー化し、応募数の更なる増加を目指した。</p> 	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	19					
事業・取組名	さくらの保護育成					
部局名/団体名	静岡県さくらの会			担当課		
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(4)花と緑があるまちの魅力の向上と発信					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	さくら功労者の表彰やさくら相談員派遣事業などを実施することで、県内の桜の保護育成について地域住民の自主的な活動を奨励する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>さくら功労者の表彰</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内で桜の愛護や植栽など、桜に関する著しい功績のある者を表彰する。 <p>さくら相談員派遣事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 桜の名所整備や桜の管理について、専門家による技術的な助言を行うことで、桜の保護や健全な育成を図る。 さくら相談員派遣される指導の場を桜に関する技術的な講習会として活用することで、市町担当者を中心に桜の保護育成に関する知識の周知を図る。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
さくら功労者の表彰						
さくら相談員派遣事業の実施						

評価シート

取組番号	19		
事業・取組名	さくらの保護育成		
部局名/団体名	静岡県さくらの会	担当課	
令和元年度事業費	159 千円		
令和元年度の実績			
<p>県内で桜の愛護や植栽など、桜に関する著しい功績のある者に対する表彰を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は、桜の保護や育成、普及に功績のあった2人を表彰した。 <p>桜の保護や健全な育成を図るため、専門家を派遣し、桜の健全な育成に対する助言を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度は12箇所専門家を派遣した。12箇所のうち10箇所は、H24までに県が日本の様々な桜を見ることが出来る地域づくりを目指して実施した「日本の桜の郷づくり事業」で県内各地に苗木を配布した箇所で、生育状況のフォローアップを行った。 			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<ul style="list-style-type: none"> さくら相談員派遣事業を実施する際は、近隣のさくら保護士にも通知し、参加を促した。 			
今後の予定			
<p>地域住民のさくら保護の自主的な活動の奨励を図るため、さくら功労者の表彰やさくら相談員派遣事業に継続して取り組む。</p> <p>さくら保護士のスキルアップを目指し、さくら相談員派遣事業への参加を促す。</p> <p>さくら相談員派遣事業を積極的に活用してもらうため、会員に事業のPRを行う。</p>			
参考(写真・図表等)			
静岡県さくら功労者表彰		さくら相談員派遣事業	
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	20					
事業・取組名	ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		農芸振興課	
基本方針	2 花と緑による地域の魅力向上					
基本施策	(4)花と緑があるまちの魅力の向上と発信					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	地域や学校等での花や緑の植栽や装飾に関するコンクールを開催し、花の都づくりを推進する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<ul style="list-style-type: none"> ・地域、学校、企業、個人等を対象とした花緑コンクールを開催する。 ・花緑コンクールの優秀な取組について、表彰するとともに、冊子にまとめ、広報を行うことにより、花緑に関する取組の普及を図る。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
花緑コンクールの開催						

評価シート

取組番号	20		
事業・取組名	ふじのくに花の都しずおか・花緑コンクール		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農芸振興課
令和元年度事業費	460 千円		
令和元年度の実績			
<p>事業所や学校、地域及び個人の花・緑の取組を対象にコンクールを実施し、優良事例を広報することにより、花の利活用を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集期間 令和元年6月7日(金)から11月1日(金)まで ・応募件数 82件 ・審査結果 静岡県知事賞:計33点(最優秀賞7点・優秀賞12点・優良賞14点) 審査員特別賞:4点 ・表彰式等 令和2年2月22日(土)ふじのくに食と花の都の祭典内での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。なお、賞状及び副賞については、郵送にて対応した。 			
令和元年度の実施に当たり考慮した点			
<p>県内の各学校や各地域のオープンガーデン団体に対し、コンクールへの応募に向けた周知活動を実施し、前年比、学校花壇の部は136%、オープンガーデンの部は140%の応募件数につながった。</p>			
今後の予定			
<p>県民による花緑の利活用や、暮らしの様々な場面で花や緑があふれる、ふじのくに「花の都しずおか」づくりを推進すべく、今年度も同事業を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集期間 令和2年6月4日(木)から11月6日(金)まで ・表彰式等 新型コロナウイルス感染禍の状況次第であり、現時点で開催は未定 ・その他 より多くの応募をいただけるよう、対象部門や応募条件等を見直す。 			
参考(写真・図表等)			
令和元年度 飲食店・宿泊施設の部 最優秀賞作品			
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	21					
事業・取組名	しずおかアダプト・ロード・プログラム					
部局名/団体名	交通基盤部		担当課		道路保全課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	道路のある一定区間において、住民団体、学校、企業などの皆さんが、道路清掃や美化活動を行い、行政がこれを支援する。住民団体等と行政が互いに役割分担を定め、両者の協働のもと、美化を進める。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>○道路美化活動を実施する、住民や利用者当の活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動に必要となる各種肥料・種子・苗・培養土等の消耗品の支給を行うことで自立発展的な活動の支援を行う。 ・活動中の事故に対する保険契約を締結し、活動団体のフォローを行う。 <p>地域や道路、環境保護に関する意識啓発を図るための広報活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県庁、各土木事務所のHPにて周知。 ・市町にもHPや広報誌を用いて広く周知。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
活動の支援						
広報活動の実施						

評価シート

取組番号	21		
事業・取組名	しずおかアダプト・ロード・プログラム		
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	道路保全課
令和元年度事業費	2,866 千円		
令和元年度の実績			
<p>快適な道路空間を創出するために、地域住民や企業等の道路清掃や道路美化活動を支援した。 アダプト団体として、令和2年3月末現在で、177団体、活動延長152kmで同意書を締結している。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>地域住民や企業等の道路清掃や道路美化活動への物品支給等の支援を円滑に行うため、必要となる予算措置を行った。</p>			
今後の予定			
<p>引き続き、快適な道路空間を創出するために、地域住民や企業等の道路清掃や美化活動を支援する。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
活動状況(平成30年度撮影)			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	22					
事業・取組名	リバーフレンドシップ制度					
部局名/団体名	交通基盤部		担当課		河川企画課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	県が管理する河川の一定区間において、住民や利用者等がリバーフレンドとなり、清掃や除草等の河川美化活動を行うことにより、河川を地域の共有財産として保全する意識を啓発する					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>河川美化活動を実施する、住民や利用者等の活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動に必要となる草刈機等の物品の貸与を行うとともに、必要に応じて軍手等の消耗品の支給を行うことで自立発展的な活動の支援を行う。 活動時の傷害・賠償責任保険契約を締結する。 <p>身近な河川の治水や環境保護に関する意識啓発を図るための広報活動を実施する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
物品等による河川愛護活動のための支援						
意識啓発のための広報活動						

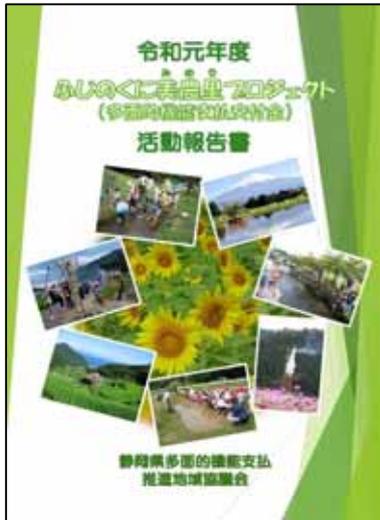
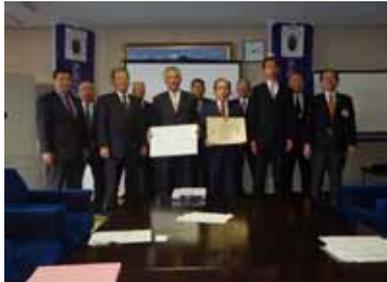
評価シート

取組番号	22		
事業・取組名	リバーフレンドシップ制度		
部局名/団体名	交通基盤部	担当課	河川企画課
令和元年度事業費	22,159 千円		
令和元年度の実績			
<p>河川美化活動を実施する、住民や利用者等の活動を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> リバーフレンドとして、平成31(令和元)年度は新たに20団体と同意書を締結した。 (令和2年3月末現在で、635団体、延長約754kmで同意書を締結) <p>身近な河川の治水や環境保護に関する意識啓発を図るための広報活動を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> リバーフレンドシップ制度の内容や安全対策を周知するため、パンフレットを作成した。 (令和2年4月に活動団体等に配布) 			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>リバーフレンドからの要望を受け、故障資機材の修繕を県で実施するよう制度改善を行った。</p>			
今後の予定			
<p>リバーフレンド活動を通じて、地域で「みんなの川」を「みんなで守っていく」意識を高め、併せて、身近な河川の治水や環境保護に関する意識啓発を図っていく。 パンフレットやホームページ等を通じて、制度内容の周知を徹底するとともに、リバーフレンドと意見交換を行い、活動団体への支援や制度改善に努めていく。</p>			
参考(写真・図表等)			
活動状況【(二)滝ノ谷川 滝沢町内会 藤枝市】			
			
活動団体向けパンフレット			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	23					
事業・取組名	ふじのくに美農里プロジェクト					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		農地整備課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	農業・農村の有する、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの様々な働き(多面的機能)を維持・発揮させるため、「ふじのくに美農里プロジェクト」により、農業者や地域住民による地域資源(農地・水路・農道等)を保全する共同活動への支援を行う。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>・農地・水路・農道等の地域資源の保全活動に取り組む、農業者及び地域住民等で構成される活動組織に対し、国・県・市町が多面的機能支払交付金を交付し、活動の支援を行う。</p> <p>・活動組織は、農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的な保全活動のほか、生態系の保全(生き物調査、外来種駆除、ビオトープづくり等)や、景観形成(農道や耕作放棄地等への植栽)など、農村環境の保全のための活動に取り組む。</p> <p>・少子高齢化による農村地域の人手不足を改善し、活動の継続・拡大を図るため、地域内外に対する広報活動を積極的に行い、地域に潜在する多様な主体(農業者以外の住民、女性、障害者等)の参画や、地域外の都市住民との都市・農村間の交流を促進する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
県HP等による活動事例の紹介						
記者提供による活動予定の広報						

評価シート

取組番号	23		
事業・取組名	ふじのくに美農里プロジェクト(多面的機能支払交付金)		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農地整備課
令和元年度事業費	796,273 千円		
令和元年度の実績			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 農地・水路・農道等の地域資源の保全活動に取り組む、農業者及び地域住民等で構成される活動組織に対し、国・県・市町が多面的機能支払交付金を交付した。(R元活動組織数:232、交付対象面積:13,300ha) ・ 活動組織は、農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的な保全活動のほか、景観形成(農道や耕作放棄地等への植栽)や、生態系の保全(生き物調査、外来種駆除、ビオトープづくり等)など、農村環境の保全のための活動に取り組んでいる。 ・ 農業者だけでなく農業者以外の参加や、地域内外の参画者・交流人口を増やすため、記者提供等による活動予定の広報や、ホームページに活動報告を掲載した。 ・ 令和元年度活動報告書を作成し、各活動組織や関係機関に配布した。 ・ H30に創設された「関東農政局多面的機能発揮促進事業 局長表彰」において、浜松市の活動組織が優秀賞を受賞した。 			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動組織の活動状況がわかりやすく記載された活動報告書の作成は4年ぶり。報告書のデータは、ホームページにも掲載し、今後は毎年更新していく予定。 ・ 局長表彰は、コロナ感染症拡大防止対策のため関東農政局で開催せず、浜松市役所で授与式を行った。地元誌への記者提供を行い、新聞に掲載された。 			
今後の予定			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き、記者提供等により、活動予定の広報を行っていく。 ・ 表彰制度等を活用するなど、優良な活動・取組については、県内外へ周知すべく広報を行う。 			
参考(写真・図表等)			
	<p>← 令和元年度ふじのくに美農里プロジェクト(多面的機能支払交付金)活動報告書</p> <p>関東農政局多面的機能発揮促進事業 局長表彰 優秀賞受賞</p>		

緑化推進計画 事業個票

取組番号	24					
事業・取組名	一社一村しずおか運動					
部局名/団体名	経済産業部			担当課		農地保全課
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	<p>農山村と企業が対等な関係のパートナーシップを組み、それぞれの資源、人材、ネットワーク等を生かした双方にメリットのある協働活動の実現を目指し、農山村と企業の要望を県がコーディネートする取組。</p> <p>平成30年1月末時点で34の農山村地域と39の企業団体が認定されている。</p>					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>農山村と企業等とのマッチング・コーディネートの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の保全や活性化に課題を持つ農山村と、環境改善や地域社会への貢献に関心の高い企業のマッチングを図るとともに、両者の活動をコーディネートすることで協働活動を推進する。 ・企業側へ事業周知を図るため、本事業実施によるメリット等を記載したパンフレット配布やイベント等でのPRを行う。 <p>広報誌等による取組状況の紹介といった活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報誌「里風通信」にて、「一社一村しずおか運動」に取組む「企業」と「農山村」の活動の様子先の駆的な優良事例を情報発信する。(年2回発行) 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
農山村と企業等とのマッチングの推進	新規の活動取組み認定2件/年					
広報誌「里風通信」の発行	年2回発行					

評価シート

取組番号	24		
事業・取組名	一社一村しずおか運動		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	農地保全課
令和元年度事業費	910 千円		
令和元年度の実績			
<p>新たに、3組の農山村と企業が取組が認定され、令和元年度までに38農山村地域と43企業団体を認定。 令和元年度は、協働により、草刈や農作物の植付け・収穫といった農地保全活動、桜の植樹や芝桜の植栽等による地域の景観向上等の取組が行われた。 農山村と企業とのマッチングを推進するため、協働活動の方法や他の先駆的な優良事例を紹介する情報誌「里風通信」を2回発行し、PRを行った。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
より多くの関係者が参加するよう広報を行った。			
今後の予定			
企業と農山村のマッチング推進のため、優良事例集での広報を行う。 情報誌「里風通信」の発行(年2回)の他、県HPといったウェブを活用した情報発信を行う。			
参考(写真・図表等)			
<p>一社一村しずおか運動 活動の様子 水見色町内会(静岡市葵区)×中日本高速道路株式会社</p>  <p>協働により河津桜を植栽</p>		<p>里風通信の発行</p> 	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	25					
事業・取組名	森づくり県民大作戦					
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課			環境ふれあい課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	環境ふれあい課のホームページに、各森づくり団体が開催する森づくりイベントを掲載するとともに、各農林事務所主催の森づくりイベントを開催し、県民総参加による森づくりを推進する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>県民が森づくり活動に参加できる機会を提供するため、森づくり団体等が開催する森づくりイベントを環境ふれあい課ホームページに掲載する。</p> <p>森づくり活動への新規参加者を確保するため、各農林事務所主催の森づくりイベントを開催する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
HPでの森づくりイベントの情報発信	—————					
農林事務所主催イベントの開催	—————				

評価シート

取組番号	25		
事業・取組名	森づくり県民大作戦		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
令和元年度事業費	1,426 千円	県民参加の森づくり推進事業費のうち一部	
令和元年度の実績			
<p>森づくり県民大作戦について、一般公募を行うイベントなどの情報を、環境ふれあい課ホームページに掲載したほか、春、秋の重点期間をお知らせするチラシを作成し、市町、図書館、スポーツ用品店などに配布した。</p> <p>平成30年度から、国際機関である“国連生物多様性の10年委員会”の連携事業に森づくり県民大作戦が選定され、同委員会のホームページへのイベント情報の掲載や、チラシへのロゴマーク使用により、PR効果を高めた。</p> <p>令和元年度から、地球温暖化防止アプリ「クルポ」を導入し、PRに活用(一部の行事に参加すると、クルポのポイントが獲得できる)。</p> <p>各農林事務所において、森づくり県民大作戦として、9行事を開催した。</p> <p>令和元年度の森づくり県民大作戦は、755行事が開催され、延べ28,149人が参加した。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>森づくり活動への参加をきっかけに、生物多様性の保全や地球温暖化防止などの課題についても関心を持ってもらうよう、関連付けたPRを実施した。</p> <p>県主催イベントについては、地域住民や企業等と連携して開催するとともに、市街地で開催されるイベントにブース出展し、都市住民に向けたPRを実施した。</p>			
今後の予定			
<p>令和2年度の森づくり活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多数の行事が中止や規模縮小となっている。</p> <p>主催者向けに、感染症対策の留意事項を取りまとめたリーフレットや、参加者向けに、協力依頼や留意事項を取りまとめたチラシを作成する。また、留意事項を主催者に普及するため、県主催のモデル行事を開催する。</p>			
参考(写真・図表等)			
			
<p>地域や企業と連携した 春の森づくり県民大作戦</p>		<p>「SDGsコレクション」(しずおかガールズコレクション同日開催)に出展し、森づくりや自然ふれあい活動をPR</p>	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	26					
事業・取組名	しずおか未来の森サポーター					
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課			環境ふれあい課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	しずおか未来の森サポーター企業及びふじのくに森の町内会への参加企業数を増やすことが、森林整備及び緑化推進に寄与することから、広報や普及啓発により参加を促進する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>(1)しずおか未来の森サポーター企業の参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業の森づくり活動の県ホームページへの掲載やパンフレット作成による普及啓発。 ・表彰の実施による活動企業の取組に感謝の意を表し、更なる活動継続を促す。さらに表彰のPR効果により、新規企業への広報とする。 <p>(2)ふじのくに森の町内会への参加促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報・普及啓発により森の町内会への参加を促進する。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
しずおか未来の森サポーター企業の参加促進 (HP掲載、パンフレット作成)						
ふじのくに森の町内会への参加促進						
しずおか未来の森サポーター企業の表彰						

評価シート

取組番号	26		
事業・取組名	しずおか未来の森サポーター		
部局名/団体名	くらし・環境部	担当課	環境ふれあい課
令和元年度事業費	1,426 千円	県民参加の森づくり推進事業費のうち一部	
令和元年度の実績			
<p>しずおか未来のサポーター企業は、新たに2社と協定を締結するとともに、「紙」の購入を通して手軽に森づくりに参加できる「ふじのくに森の町内会・間伐に寄与する紙」制度に2社が参加し、令和元年度末で累計130社となった。</p> <p>長年優れた活動を継続しているサポーター企業に対する表彰制度(平成30年度創設)により、活動実績10年経過した企業への知事表彰(3社)及び活動実績5年経過した企業への知事褒章(2社)の授与式を行った。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>企業ニーズに応じた活動の提案を行い、フィールドや企業をサポートする森づくり団体等とのマッチングを図った。</p>			
今後の予定			
<p>社会貢献活動に加えて、生物多様性の保全やSDGs等、森づくりと関連の深い取組に関心のある企業等に対して制度を普及し、森づくりへの参加を促していく。 (今年度の活動については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの企業で中止又は規模縮小となる見込み)</p>			
参考(写真・図表等)			
			
しずおか未来の森サポーター 協定締結式		しずおか未来の森サポーター 知事表彰	

緑化推進計画 事業個票

取組番号	27					
事業・取組名	ふじのくに森の防潮堤づくり					
部局名/団体名	経済産業部		担当課		森林保全課	
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(5)社会総がかりの緑化活動への参加促進					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	遠州灘海岸で進めている「ふじのくに森の防潮堤づくり」を県民参加で推進する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>ふじのくに森の防潮堤づくりの実施にあたっては、県民との協働による海岸防災林の再整備を進めるため、地域住民や地元企業による植樹祭等を実施する。</p>						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
県民参加による植樹祭等の実施						

評価シート

取組番号	27		
事業・取組名	ふじのくに森の防潮堤づくり		
部局名/団体名	経済産業部	担当課	森林保全課
令和元年度事業費	-	千円	
令和元年度の実績			
<p>○ 掛川市では、令和元年5月11日に130人、令和元年5月25日に750人の県民が参加して植樹活動を実施し、令和元年10月19日に216人の県民が参加して下刈を実施した。</p> <p>○ 袋井市では、令和2年2月16日に66人が参加して植樹活動を実施した。</p> <p>○ 浜松市では令和元年12月14日に120人が参加して植樹活動を実施した。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>○ 県民の海岸防災林への理解を深めるため、植樹・下刈活動の開始前にパンフレットを配布し、ふじのくに森の防潮堤づくりの概要や進捗状況を説明した。</p>			
今後の予定			
<p>○ 今後も県民参加による植樹祭等を実施し、海岸防災林が地域にとって重要な施設であることの理解と、植栽木の維持・管理等への協力の意識の醸成を図る。</p>			
参考(写真・図表等)			
掛川市における県民参加の植樹活動(R1.5.11)		掛川市における県民参加の植樹活動(R1.5.25)	
			

緑化推進計画 事業個票

取組番号	28					
事業・取組名	緑化コーディネーターの育成・活用					
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課				
基本方針	3 社会総がかりの緑化活動					
基本施策	(6)緑化活動の核となる人材の育成					
取組項目	緑化整備 緑化維持	人材育成 緑化支援	普及啓発 広報	連携・協働 その他		
概要	緑化の技術・知識などを持った、地域活動の核となる人材を育成するとともに、庭園デザインの専門家などを各地域に派遣し、緑化活動を支援する。					
緑化推進に関する配慮事項、進め方						
<p>緑化コーディネーターの養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の緑化ボランティア研修の内容を一部見直し、緑化に関する複数の専門知識に加え、活動のマネジメント力を持ち行政や活動団体と連携を取りながら地域の緑化活動の核となって活動できる人材を育成する緑化コーディネーター養成コースを開催する。 <p>人材バンクの設置・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑化コーディネーターの要件を定め、人材バンクを設置する。 緑化コーディネーター養成コースの修了生や造園業などの専門家を、緑化コーディネーターとして認定し、人材バンクに登録する。 得意分野を明らかにした緑化コーディネーターの名簿を公表し、緑化コーディネーターの活用を促進し、活躍の場を提供する。 <p>専門家の派遣を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域での緑化活動に関して、専門家によるアドバイスを受けやすくするため、専門家の派遣を支援する。 						
事業・取組のスケジュール						
項目	短期					中期
	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R5-9
緑化コーディネーターの養成	研修体系見直し					
人材バンクの設置・活用	設置			登録・活用		
専門家の派遣を支援						

評価シート

取組番号	28		
事業・取組名	緑化コーディネーターの育成・活用		
部局名/団体名	静岡県グリーンバンク	担当課	
令和元年度事業費	1,809	千円	
令和元年度の実績			
<p>地域の行政や企業、活動団体などを有機的につなぐマネジメント力を持つ人材を育成する緑化コーディネーター養成講座を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度は募集人員25人に対して、29人が受講、19人が修了した。 ・ 緑化コーディネーターに求められる役割、ボランティアの組織運営など緑化技術以外の内容を充実させた。 <p>緑化ボランティア団体等からの求めに応じて緑化の専門家を紹介できるように、グリーンバンクが人材バンク登録者の設定を行った。</p>			
令和元年度の実施にあたり考慮した点			
<p>研修参加者が活動する上で、より身近で参考になる講師を選定した。緑化による地域活性化、地域リーダーの育成、新たな地域の魅力の発掘などを講義に取り入れた。</p>			
今後の予定			
<p>緑化活動の活性化のため、地域の緑化活動の核となり推進する人材を育成する事業に継続して取り組む。 緑化の専門家からのアドバイスを緑化ボランティア団体等が利用しやすくなるような制度を検討していく。</p>			
参考(写真・図表等)			
<p>緑化コーディネーター養成講座</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

管理指標

花と緑を慈しむ文化の創造

目標	現状値 (2016/H28)	現状値 (2017/H29)	現状値 (2018/H30)	現状値 (2019/R元)
自然ふれあい施設における 自然体験プログラム実施回数	(2016年度) 159回	(2017年度) 149回	(2018年度) 190回	(2019年度) 216回
豊かな暮らし空間創生 住宅地の区画数	(2016年度まで) 累計121区画	(2017年度まで) 累計239区画	(2018年度まで) 累計309区画	(2019年度まで) 累計309区画
芝生が適切に維持管理された 園庭・校庭数	(2016年度まで) 累計4箇所	(2017年度まで) 累計8箇所	(2018年度まで) 累計10箇所	(2019年度まで) 累計15箇所
グリーンバンクで支援している 緑化活動団体数	(2016年度) 195団体	(2017年度) 198団体	(2018年度) 193団体	(2019年度) 188団体
複数の園庭・校庭に芝生を 導入している市町数	(2016年度) 16市町	(2017年度) 16市町	(2018年度) 16市町	(2019年度) 17市町
緑化コーディネーター、 芝生アドバイザー派遣箇所数	(2016年度) 41箇所	(2017年度) 34箇所	(2018年度) 42箇所	(2019年度) 69箇所
緑化優良工場としての受賞件数	(2016年度まで) 累計71件	(2017年度まで) 累計75件	(2018年度まで) 累計79件	(2019年度まで) 累計82件

花と緑による地域の魅力向上

目標	現状値 (2016/H28)	現状値 (2017/H29)	現状値 (2018/H30)	現状値 (2019/R元)
おもてなし空間整備箇所数			4箇所	7箇所
静岡県さくらの会 ホームページアクセス数	(2016年度) 443,941回	(2017年度) 494,257回	(2018年度) 393,710回	(2019年度) 407,717回
全国花のまちづくりコンクール 受賞件数	(2016年度まで) 累計79件	(2017年度まで) 累計89件	(2018年度まで) 累計101件	(2019年度) 累計112件
県主催花緑コンクールの 応募件数	(2016年度) 120件	(2017年度) 104件	(2018年度) 71件	(2019年度) 82件
市町主催花緑コンクールの 応募件数	(2016年度) 661件	(2017年度) 656件	(2018年度) 724件	(2019年度) 593件

社会総がかりの緑化活動

目標	現状値 (2016/H28)	現状値 (2017/H29)	現状値 (2018/H30)	現状値 (2019/R元)
森づくり県民大作戦参加者数	(2016年度) 28,343人	(2017年度) 27,969人	(2018年度) 28,271人	(2019年度) 28,149人
ふじのくに美しく品格のある 邑づくり参画人数	(2016年度) 63,955人	(2017年度) 68,763人	(2018年度) 70,403人	(2019年度) 73,369人
しずおか未来の森サポーター 企業数	(2016年度) 119社	(2017年度) 124社	(2018年度) 126社	(2019年度) 130社
緑化コーディネーター 養成講座開催回数			3回	3回

短期目標値 (2021/R3)	担当	関連する 主な取組
毎年度 160 回	環境 ふれあい課	5 森林環境教育プログラムの提供
累計 400 区画	住ま い づくり課	8 豊かな暮らし空間創生
累計25箇所	環境 ふれあい課	9 芝生地の普及支援、管理支援
200団体	環境 ふれあい課	1 緑化資材の提供 9 芝生地の普及支援、管理支援
(2027年度) 35市町	環境 ふれあい課	9 芝生地の普及支援、管理支援
65箇所	環境 ふれあい課	1 緑化資材の提供 10 芝生アドバイザーの育成・活用
(2027年度) 累計80件	企業立地 推進課	12 工場緑化セミナー

()
「グリーンバンクで支援している
緑化活動団体数」
令和2年度実績値は189団体で報告
していましたが集計に錯誤があり、
188団体に修正しました。(R2.10.29)

短期目標値 (2021/H33)	担当	関連する 主な取組
7 箇所	環境 ふれあい課	14 花と緑のおもてなし空間整備支援
毎年度 450,000回	環境 ふれあい課	18 さくら愛護思想普及の推進
累計195件	環境 ふれあい課	—
120件	農 芸 振 興 課	20 ふじのくに花の都しずおか・ 花緑コンクール
700件	環境 ふれあい課	—

短期目標値 (2021/H33)	担当	関連する 主な取組
毎年度 28,000 人	環境 ふれあい課	25 森づくり県民大作戦
80,000 人	農 地 局	6 しずおか棚田・里地くらぶ 23 ふじのくに美農里プロジェクト 24 一社一村しずおか運動
136 社	環境 ふれあい課	26 しずおか未来の森サポーター
毎年度 3 回	環境 ふれあい課	28 緑化コーディネーターの育成・活用

